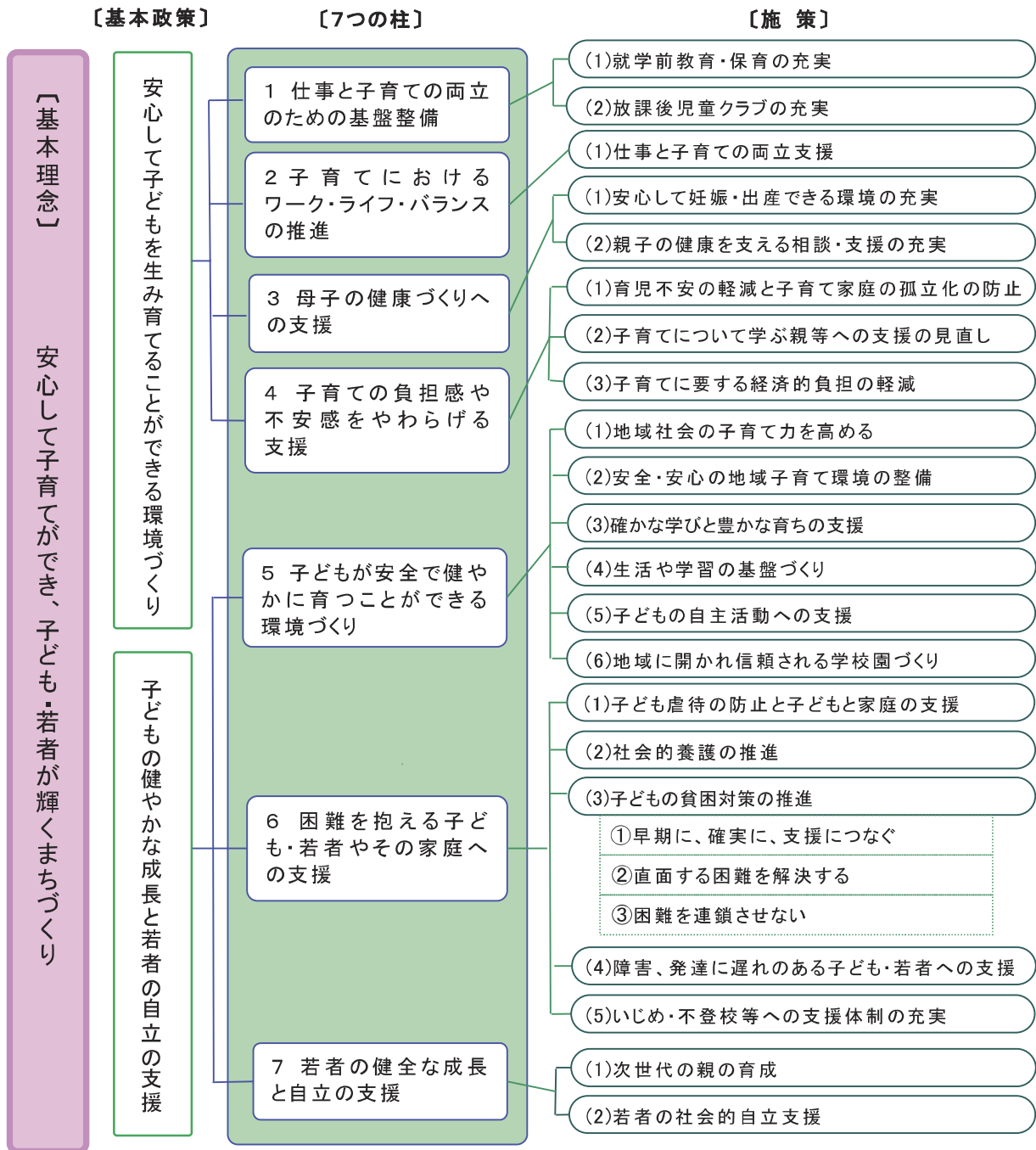


第3章 子ども・子育て支援施策の具体的な展開

1 計画の体系

基本理念を実現するための基本政策を、「安心して子どもを生み育てることができる環境づくり」及び「子どもの健やかな成長と若者の自立の支援」とし、施策の推進に取り組みます。

基本理念、基本政策のもと、子どもと子育て家庭に関する施策を体系的に整理し、7つの柱を基本に据えて、様々な事業の展開を図っていきます。



2 施策の展開・推進事業

7つの柱と施策の体系に基づき実施する事業についてまとめています。また、今回新たに追加した事業には☆印を付しています。

基本政策1 安心して子どもを生き育てることができる環境づくり

柱1 仕事と子育ての両立のための基盤整備

(1) 就学前教育・保育の充実

共働き世帯の増加や核家族化の進行、幼児教育・保育の無償化の影響等による保育所等への入園希望者の増加に対応するため、私立保育所の新設のほか、小規模保育事業者や事業所内保育事業者の公募等により、保育の受け皿を確保します。

また、質の高い幼児教育と保育を総合的に提供するため、地元との協議を行いながら、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園の整備を進めるとともに、就学前教育・保育を担う人材を確保するため、処遇改善や現場を離れている潜在保育士の再就職支援等に取り組みます。

〔評価指標〕 保育所等の待機児童数

平成30年度 353人 → 令和6年度 0人
(H31.4.1) (R7.4.1)

NO. 1 (1-1-1…柱1-施策1-事務事業1)

事業名	保育の受け皿確保			こども園推進課		
事業概要 (目的)	保育所や認定こども園、地域型保育事業の整備等により、保育の受け皿を確保する。					
内容	実績(平成30年度)			計画内容(具体的な取組み)		
	平成31年4月1日現在 18,967人分 令和2年4月1日(見込み) 19,848人分			令和2～4年度の3か年で 2,400人分を確保する。		
指 標		基準値(平成30年度)		目標値(令和6年度)		
保育所等での2号・3号認定の利用定員		18,967人 (H31.4.1)		22,200人 (R7.4.1)		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

NO. 2 (1-1-2)

事業名		延長保育事業			保育・幼児教育課	
事業概要 (目的)		保育所や認定こども園等において、2・3号認定こどもに対し、通常の利用時間帯以外の時間に開所時間を延長し、保育を行う。				
内容	実績（平成30年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	実施施設数 127施設 実利用者数 5,818人			引き続き事業を実施する。		
指 標			基準値(平成30年度)	目標値（令和6年度）		
延長保育実利用人数			5,818人	5,861人		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

NO. 3 (1-1-3)

事業名		休日保育事業			保育・幼児教育課	
事業概要 (目的)		保護者が休日に就労等で家庭保育ができない場合に、保育を行う。				
内容	実績（平成30年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	対象園 認定こども園 2園 保育園 3園 地域型保育事業所 4園 利用延人数 認定こども園 253人 保育園 992人 地域型保育事業所 385人			引き続き事業を実施する。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

NO. 4 (1-1-4)

事業名	病児保育事業			保育・幼児教育課		
事業概要 (目的)	保護者が就労している場合等であって、子どもが病気の際に自宅での保育が困難なときに、医療機関等において病気の児童を一時的に保育する。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	実施施設数 市内 6 施設 利用者数（延べ） 5,581 人			潜在ニーズに対応するため、新たな事業者（医療機関等）の募集を 3 か所程度行う。		
指 標			基準値(平成 30 年度)	目標値（令和 6 年度）		
病児保育年間延利用人数			5,581 人	13,872 人分		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○	○		

NO. 5 (1-1-5)

事業名	最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進事業			こども園推進課		
事業概要 (目的)	「岡山市の就学前教育・保育の在り方について」（平成 24 年 12 月策定）及び「施設配置の最適化における公立施設の整備等の進め方について」（平成 28 年 3 月）に基づき、施設運営の効率化を図りつつ、希望するすべての就学前の子どもに、質の高い教育・保育を等しく提供できるよう環境を整備する。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<ul style="list-style-type: none"> 市立幼保連携型認定こども園の整備数 平成 31 年 4 月 1 日現在 12 園 令和 2 年 4 月 1 日（見込み） 16 園 市立幼稚園及び保育所の社会福祉法人・学校法人への移管数 平成 31 年 4 月 1 日現在 3 園 令和 2 年 4 月 1 日（見込み） 4 園 			<ul style="list-style-type: none"> 市立幼保連携型認定こども園の整備数 地元説明着手含め 20 園 市立幼稚園及び保育所の社会福祉法人・学校法人への移管数 地元説明着手含め 13 園 		
指 標			基準値(平成 30 年度)	目標値（令和 6 年度）		
市立幼保連携型認定こども園への移行数 市立幼稚園及び保育所の社会福祉法人・学校法人への移管数			12 園 3 園 (H31.4.1)	36 園 17 園 (R7.4.1)		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

NO. 6 (1-1-6)

事業名	免許資格取得等支援事業			保育・幼児教育課 幼保運営課		
事業概要 (目的)	公私立の幼保連携型認定こども園に勤務する保育教諭を確保するため、保育士と幼稚園教諭の両方の免許資格を持たない保育士・幼稚園教諭を対象に、免許資格の取得に必要な養成施設の受講料等の補助を行う。また、幼稚園教諭免許更新講習を実施する。					
内容	実績(平成30年度)			計画内容(具体的な取組み)		
	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教諭免許取得者への補助 2件(公立) 5件(私立) 保育士資格取得者への補助 9件(公立) 0件(私立) 			引き続き事業を実施する。 免許更新講習については、私立認定こども園等の保育教諭を受講対象者に加える。		
指 標			基準値(平成30年度)		目標値(令和6年度)	
幼稚園教諭免許状、保育士資格未 取得者数			20人		0人	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

NO. 7 (1-1-7)

事業名	保育士確保支援事業 (保育士・保育所支援センター事業)			保育・幼児教育課		
事業概要 (目的)	保育所等の人材確保のため、保育士の資格を持ちながら保育所等で就労していない「潜在保育士」の就職支援を行う。					
内容	実績(平成30年度)			計画内容(具体的な取組み)		
	就職面接会2回 参加者45人 実習体験研修会8回 参加者21人 保育士応援セミナー2回 参加者44人 など			これまでの事業を継続実施する とともに、支援センターの登録保 育士に個別に保育所等を紹介する など拡充に努める。		
指 標			基準値(平成30年度)		目標値(令和6年度)	
潜在保育士登録者数			104人		毎年度 130人	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

NO. 8 (1-1-8)

事業名	☆ 民間保育士等処遇改善事業			保育・幼児教育課		
事業概要 (目的)	待機児童解消のための施策の柱である「保育士の確保と定着」を図るため、私立保育所等で働く保育士等に対して、市独自で賃金の上乗せを行う。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	平成 29 年度から 2% の賃金上乗せを実施 ・対象者数 2,121 人			令和 2 年度から賃金上乗せを 1% 拡充し、3% としたうえで、3 年程度事業を実施する。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

NO. 9 (1-1-9)

事業名	☆ 保育支援者配置助成事業			保育・幼児教育課		
事業概要 (目的)	地域住民や子育て経験者などの地域の多様な人材を保育に係る周辺業務に活用し、保育士の負担を軽減することによって、保育士の就職継続及び離職防止を図り、保育士が働きやすい職場環境を整備する。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	・対象 私立保育所、私立幼保連携型認定こども園 ・実施施設数 18 園			令和 2 年度から補助単価を拡充（支援者 1 人につき月額 90,000 円を 100,000 円）したうえで、3 年程度事業を実施する。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

NO. 10 (1-1-10)

事業名	☆ 医療的ケア児保育支援事業			保育・幼児教育課		
事業概要 (目的)	人工呼吸器を装着している障害児その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児を受け入れるため、保育所等に医療的ケアを行う看護師等を配置する場合に、人件費等を助成する。					
内容	実績			計画内容(具体的な取組み)		
	平成31年度から実施 私立保育園 1園			引き続き事業を実施する。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

NO. 11 (1-1-11)

事業名	☆ 保育士等宿舎借上げ支援事業			保育・幼児教育課		
事業概要 (目的)	私立保育所等が、保育士等の人材確保を図るとともに、当該施設等へ定着させるため、保育士等の宿舎借上げを実施した場合に、補助金を交付する。					
内容	実績			計画内容(具体的な取組み)		
	平成31年度から実施 月60,000円、36か月を上限			令和3年度まで事業を実施する。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

NO. 12 (1-1-12)

事業名	☆ 保育士奨学金返済支援事業			保育・幼児教育課		
事業概要 (目的)	奨学金を利用して保育士の資格又は幼稚園の教員免許を取得し、市内の保育施設等に就職した者が奨学金を返済するために要した費用の一部を補助することにより、保育人材の確保、定着及び離職防止を図る。					
内容	実績			計画内容(具体的な取組み)		
	平成31年度から実施 月10,000円、36か月を上限			令和3年度まで事業を実施する。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

NO. 13 (1-1-13)

事業名	☆ アレルギー児対応調理員等加配助成事業			保育・幼児教育課		
事業概要 (目的)	食物アレルギーのある児童を安全に保育するため、非常勤調理員等を加配した場合に要する経費の一部を助成する。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	補助対象園 認定こども園 2 園 保育園 1 園 補助額 1,570 千円 補助対象者 4 名			引き続き事業を実施する。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

(2) 放課後児童クラブの充実

小学生の放課後等の居場所を確保し、利用希望者全員に適切な育成支援を提供できるよう、放課後児童クラブの安定的な運営や受入れ施設の整備を進めます。

〔評価指標〕 放課後児童クラブへの入所希望に対する入所児童の割合の上昇

平成 30 年度 91.5 % → 令和 6 年度 100 %

放課後児童クラブへの入所希望児童に対する入所できた児童の割合

NO. 14 (1-2-1)

事業名	放課後児童健全育成事業			地域子育て支援課		
事業概要 (目的)	共働き家庭など保護者が昼間に仕事などで家庭にいない小学生を対象に、授業終了後等に原則として小学校敷地内に専用室を設置し、運営委員会もしくはふれあい公社が運営する児童クラブで、放課後児童に適切な遊び及び生活の場を提供し、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、その健全な育成・支援を行う。					
内容	実績(平成 30 年度)			計画内容(具体的な取組み)		
	放課後児童クラブ利用児童数 7,313 人			利用ニーズの増加に対応できるよう、引き続き、支援員等の確保支援を行う。		
指 標		基準値(平成 30 年度)		目標値(令和 6 年度)		
放課後児童クラブ利用児童数		7,313 人		10,039 人		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
				○		

NO. 15 (1-2-2)

事業名		放課後児童クラブ施設の充実			地域子育て支援課	
事業概要 (目的)	現状児童クラブ室の施設確保が必要な児童クラブ、もしくは今後さらに児童クラブ室が必要となる可能性がある児童クラブの施設確保を進める。児童 1 人当たりの面積や老朽化が進んでいる等の状況を考慮して整備の優先順位を決め、各年度 10 か所程度児童クラブ室の施設新設、改修等を行う。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	放課後児童クラブ施設整備 15 クラブ (学校施設活用 11 クラブ 専用施設建設 4 クラブ)			小学校の施設活用を優先し、活用可能な施設がない場合は学校敷地内へ専用施設を建設する。		
指 標		基準値(平成 30 年度)		目標値（令和 6 年度）		
施設確保が必要な児童クラブ数 (1.65 m ² 未満/人)		42 クラブ		0 クラブ		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
				○		

NO. 16 (1-2-3)

事業名		放課後児童クラブの充実			地域子育て支援課	
事業概要 (目的)	放課後児童クラブを「市立のクラブ」に位置付け、各クラブが抱えている課題を解決するとともに持続的かつ安定的な運営を図る。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	地域が運営する児童クラブが抱えている様々な課題を解決するため、まず市が統一基準を策定し、その基準に賛同するクラブを「公の施設」として条例に位置づけ、令和 2 年度から公益財団法人岡山市ふれあい公社へ運営を委託する方針を決定。			<ul style="list-style-type: none"> ふれあい公社と委託契約を結び、移行クラブ数に応じた業務体制を整備し、具体的な運営準備に着手。 令和2年度から新体制での運営を開始。 		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
				○		

柱2 子育てにおけるワーク・ライフ・バランスの推進

(1) 仕事と子育ての両立支援

子育て世代や企業への啓発や、子育てに関する具体的な知識等の習得を支援することにより、男性の育児・家事への参加を促進し、男女ともに仕事と家庭生活を両立しやすい環境づくりを進めます。

〔評価指標〕 男性の育児等への積極的参加

〔育児参加〕 平成30年度 55.1% → 令和6年度 60.0%

「3歳児アンケート」で「平日育児に参加する時間」について、1時間以上と回答した父親の割合

NO. 17 (2-1-1)

事業名	男女共同参画推進週間（さんかくウィーク）事業			女性が輝くまちづくり推進課		
事業概要 （目的）	男女共同参画社会の形成に関する理解の促進を図るため、岡山市男女共同参画推進週間（さんかくウィーク）を設け、市民及び事業者と協働して各種行事を実施。 ・さんかくウィーク：6月21日～27日 （プレウィーク6月14日～20日、フォローウィーク6月28日～7月4日）					
内容	実績（平成30年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	参加者 3,528人			期間中にさんかく岡山、公民館、図書館等にて講座、展示、ワークショップ等を実施。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
	○	○	○	○	○	○

NO. 18 (2-1-2)

事業名	事業者に対する啓発事業			女性が輝くまちづくり推進課		
事業概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と育児の両立支援等をはじめ、雇用の分野において男女共同参画社会の形成の促進に関する取組を積極的に行う事業者を表彰する。 (男女共同参画社会の形成の促進に関する事業者表彰) ・女性の活躍推進及び仕事と家庭の両立支援など、職場における男女共同参画を推進している事業所を「岡山市女性が輝く男女共同参画推進事業所」として岡山市長が認証する。(岡山市女性が輝く男女共同参画推進事業所認証) 					
内容	実績(平成30年度)			計画内容(具体的な取組み)		
	表彰事業者数2(総数30事業者) 認証事業者数6(総数32事業者)			制度について積極的に周知を行うと共に、認証事業所には認証ロゴマークを付与し、対外的な認証価値の向上と見える化を図る。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
	○					○

NO. 19 (2-1-3)

事業名	子育てパパ・プレパパ応援事業			地域子育て支援課		
事業概要 (目的)	<p>出産前から3歳までの子育て中の父親を対象とし、子育てに対する具体的な知識、技術を取得できる研修や講座を実施することにより、男性の育児・家事参加に関する意識の高揚を図り、子どもを安心して生み育てることのできる社会を目指す。</p>					
内容	実績(平成30年度)			計画内容(具体的な取組み)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・プレパパスクール(もく浴体験、妊婦体験、おむつ替え体験等) 8回157家族参加 ・パパがつくるおうちごはん 2回28家族参加 ・子育てパパ応援講座 3回44家族参加 			内容を一部見直し、需要の高いプレパパスクールの回数を増やすなど、父親への家事・育児啓発の機会を増やす。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
	○	○				

柱 3 母子の健康づくりへの支援

(1) 安心して妊娠・出産できる環境の充実

妊産婦健康診査の受診率向上を図るとともに、親子手帳交付時における助産師等専門職による面談等により、支援を必要とする妊産婦には継続的な支援を行うなど、すべての妊婦が安心して子どもを産み育てることができる環境の整備に取り組みます。

NO. 20 (3-1-1)

事業名	妊婦一般健康診査事業			健康づくり課		
事業概要 (目的)	妊婦の保健管理の向上を図るため、母子保健法第 13 条の規定に基づいて行う。					
内容	実績 (平成 30 年度)			計画内容 (具体的な取組み)		
	実施人数 : 6,042 人 受診率 98.1%			妊婦 1 人に対し、一般健康診査 14 回、超音波検査 4 回、血液検査 2 回、クラミジア検査、B 群溶血性レンサ球菌検査を医療機関へ委託し実施している。		
指 標		基準値(平成 30 年度)		目標値 (令和 6 年度)		
受診率		98.1%		99%		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
	○					

NO. 21 (3-1-2)

事業名	妊婦・パートナー歯科健康診査			健康づくり課		
事業概要 (目的)	妊婦とそのパートナーが歯科健診を受けることで、自分自身の口の中を健康に保ちつつ、生まれてくる子どもの歯と口腔の健康を守るための知識を身につけることを目的とする。					
内容	実績 (平成 30 年度)			計画内容 (具体的な取組み)		
	妊婦 1,853 人 パートナー 831 人			市内指定歯科医療機関で歯科健診と保健指導を実施		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
	○					

NO. 22 (3-1-3)

事業名		☆ 産婦健康診査			健康づくり課	
事業概要 (目的)		産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図る観点から、産後 2 週間頃・1 か月頃の産後間もない時期の産婦に対する健康診査を実施し、産後の初期段階における母子の支援を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制を整備する。				
内容		実 績			計画内容 (具体的な取組み)	
		平成 31 年 4 月より実施			問診・体重、血圧測定・尿検査 エジンバラ産後うつ病質問票	
指 標		基準値(平成 30 年度)			目標値 (令和 6 年度)	
受診率		—			90%	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
	○	○				

NO. 23 (3-1-4)

事業名		☆ 産後ケア事業			健康づくり課	
事業概要 (目的)		支援が必要な母子を対象に、母親の身体的回復と心理的安定を促進するとともに、母親自身のセルフケア能力を育み、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援することを目的とする。				
内容		実 績			計画内容 (具体的な取組み)	
		令和元年 10 月事業開始			宿泊産後ケア、日帰り産後ケア <内容> 産婦の母体の健康管理及び生活面の指導・産婦の心理的ケア・授乳指導・沐浴等の育児指導・乳児の世話、発育発達チェック健康上の観察・その他必要な保健指導及び情報提供・休息時間の確保	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
	○	○				

NO. 24 (3-1-5)

事業名	親子手帳と子育てのしおり配布事業			健康づくり課		
事業概要 (目的)	妊婦の保健管理の向上を図るため、母子保健法第16条の規定に基づいて行う。					
内容	実績（平成30年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	親子手帳 6,158件			妊娠の届出をした妊婦に、親子手帳と子育てのしおり（妊娠・出産・育児に関する岡山市の制度や妊娠中の過ごし方、子育てなどについてまとめた冊子）を配布。子育てのしおりは転入者にも配布している。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
	○	○				

NO. 25 (3-1-6)

事業名	妊産婦及び乳幼児訪問指導事業			健康づくり課		
事業概要 (目的)	母子保健法第17条及び児童福祉法第10条の規定に基づく妊産婦訪問指導及び母子保健法第11条に基づく新生児訪問指導を行う。					
内容	実績（平成30年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	7,336人 (内訳) 妊産婦：1,984人 乳児：3,746人 幼児：1,606人			妊産婦及び乳幼児の家庭を訪問し、母子を取り巻く環境に応じた適切な保健指導を行う。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
	○	○	○			

(2) 親子の健康を支える相談・支援の充実

心身ともに安定した環境における子育てを行うため、全戸訪問等により育児環境の把握や子育て支援に関する情報提供を行うとともに、産前・産後の妊産婦のケア、特に心身ともに不安定になりやすい出産直後の母子のケアの強化など、妊娠期から子育て期にわたって、切れ目のない相談支援体制の充実を図ります。

また、乳幼児が健やかに成長・発達できるよう、健診と訪問等によるきめ細かな支援の充実を進めます。

NO. 26 (3-2-1)

事業名	おかやま産前産後相談ステーション事業			健康づくり課		
事業概要 (目的)	妊娠期から概ね出産後 1 年未満の産婦と乳児、その家族を対象とした相談窓口。 安心して出産・育児を迎えられるよう、助産師等の専門職が親子手帳交付時の面接や、妊娠・出産・育児についての相談に応じる。					
内容	実績(平成30年度)			計画内容(具体的な取組み)		
	妊娠届：2,234 件 専門職による面接割合：67.6%			妊娠届出時に面接相談・支援プラン作成 体重測定などの乳児相談 電話等による妊婦の継続支援		
指 標			基準値(平成 30 年度)		目標値(令和 6 年度)	
専門職による面接割合			67.6%		100%	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
	○					

NO. 27 (3-2-2)

事業名		こんにちは赤ちゃん事業			健康づくり課	
事業概要 (目的)	<p>生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問ボランティア（愛育委員）が絵本を持って訪問し、子育てに関する様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供につなげる。</p> <p>また、地域のボランティアが訪問することで地域のつながりを持ち、保護者の孤立を防止するとともに、地域全体で親を支援する体制を構築していく。</p>					
内容	実績（平成30年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	対象者数：6,220人 訪問率：97.0%			愛育委員が絵本と子育て支援のチラシを持ち訪問する 訪問で支援が必要な家庭に対しては適切なサービスにつなげる。		
指 標		基準値(平成30年度)		目標値(令和6年度)		
訪問率		97.0%		100%		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
		○				

NO. 28 (3-2-3)

事業名		赤ちゃんすこやか相談			健康づくり課	
事業概要 (目的)	<p>乳幼児の成長、発達に関することや、母親の育児上の悩み、不安に応じて相談や助言を行い、日常の中で解決が図られるよう適切な育児支援を行うとともに、子育て中の母子の交流の場とする。</p>					
内容	実績（平成30年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	実施回数：368回 乳児実受診数：2,533人 乳児延受診数：7,673人 利用率 42.0%			身体計測 育児相談		
指 標		基準値(平成30年度)		目標値(令和6年度)		
利用率		42.0%		45%		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
		○				

NO. 29 (3-2-4)

事業名		養育支援訪問事業			健康づくり課	
事業概要 (目的)		<p>出産後間もない時期や様々な原因で養育が困難になっている家庭に対して、具体的な育児に関する技術指導や養育者の精神的サポートを行うことにより、養育上の諸問題の解決や軽減を図るとともに、当該家庭において安定した養育が可能となるよう支援することで、児童虐待を未然に防止する。</p> <p>また、要保護児童の早期発見や保護のため、関係機関相互の連携の強化を図る。</p>				
内容		実績（平成 30 年度）		計画内容（具体的な取組み）		
		訪問実人数：33 人		<ul style="list-style-type: none"> ・保健師・訪問指導員・保育士による家庭訪問を実施 ・具体的な育児に関する技術指導、養育者の精神的サポートを行う。 		
指 標		基準値(平成 30 年度)		目標値（令和 6 年度）		
延べ訪問数		556 人		700 人		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
	○	○				

NO. 30 (3-2-5)

事業名		すくすく子育て相談事業			健康づくり課	
事業概要 (目的)		<p>小児科医が身体面や子育ての相談を行い、虐待の予防・早期発見を図り、併せて関係機関との連携により適切な指導・助言を与える機会とし、発達・発育を促進するために援助を行う。</p>				
内容		実績（平成 30 年度）		計画内容（具体的な取組み）		
		<p>実施回数：4 回 受診者：10 人</p>		<p>小児科医や歯科医による身体面や子育ての相談。心身の発達・発達の問題や虐待の早期発見を行う。また適切な指導・助言を与える機会とし、発達・発育を促進するための援助を行う。</p>		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

NO. 31 (3-2-6)

事業名	乳幼児こころの相談			健康づくり課		
事業概要 (目的)	情緒・精神の発達に心配があると思われる幼児を対象に児童精神科医による相談を行い、障害のある子どもの早期発見・早期療育につないでいく。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	実施回数：73 回 実受診者数：265 人 延受診者数：268 人			児童精神科医による情緒・精神発達に関する相談を実施。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

NO. 32 (3-2-7)

事業名	親子いきいき教室			健康づくり課		
事業概要 (目的)	情緒・精神の発達に心配があると思われる幼児とその保護者を対象に、集団の場を通して子どもの発達を促し、必要に応じて専門機関につないでいく。 また、保護者が子どもの発達や関わり方について適切な理解ができるよう支援する。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	実施回数：12 回 実参加者数：32 人 延参加者数：118 人			<ul style="list-style-type: none"> ・親子遊び ・グループワーク ・児童精神科による講話 ・個別相談 		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○				

NO. 33 (3-2-8)

事業名	乳幼児あゆみ教室			健康づくり課		
事業概要 (目的)	運動発達に心配があると思われる乳幼児を対象に、日常生活での関わり方や親子遊び、体操等の個別指導を行い、健やかな心身の発育・発達を促す。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	実施回数：12 回 実参加者数：15 人 延参加者数：66 人			<ul style="list-style-type: none"> ・運動指導（家庭療育の学習） ・育児相談 ・心理相談 ・母親同士の交流・情報交換 		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○				

NO. 34 (3-2-9)

事業名	休日夜間急患診療所の運営（小児救急医療）			医療政策推進課		
事業概要 (目的)	休日の昼間及び毎夜間の内科・小児科の初期救急医療の確保を図るため、岡山市休日夜間急患診療所にて診療を実施する。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	指定管理：一般社団法人岡山市医師会 診療科目：内科、小児科 診療時間（小児科）： 【日曜・祝日・年末年始】 10:00～12:00、13:00～17:00、19:30～23:00 【平日の月曜から土曜】 20:30～23:00 事業費（30 年度決算額）： 81,756,965 円 診療日数（30 年度）： 休日昼間 73 日、夜間 365 日 受診者数（30 年度・小児科のみ）： 休日昼間 3,193 人、 夜間 3,948 人			休日の昼間及び毎夜間の内科・小児科の初期救急医療の確保を図るため、引き続き岡山市休日夜間急患診療所にて診療を実施する。 事業費（31 年度当初予算額）： 98,300 千円		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
	○	○	○	○	○	○